

国宝の太刀、「山鳥毛」の取得を断念。取得関連予算を削減し、寄付金は返還へ (仮称)上越市体操アリーナ用地、帝石から1億5700万円で購入へ

上越市は21日、12月定例市議会に提出する議案を明らかにしました。

議案は今年度の上越市一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算など28件ののぼります。

これらの議案の中で最も注目されるのは一般会計補正予算です。新聞テレビでも報道されたように、市教育委員会が取得を目指し、交渉してきた国宝の「太刀無銘一文字(号 山鳥毛)」については断念し、取得関連事業費3億2924万円余を減額することになりました。

提案するにあたって市長は、「取得に向けた所有者との交渉が合意に至らず、取得を断念することにした」としています。このことと関連し、市教育委員会の記者会見などでは、「太刀の所有者は当初10億円を要求していた」「3月議会の審議中に(3億2000万円)の鑑定額よりも増額を求めてきた」ことが明らかにされたことから、交渉がなげ決裂したか、議会や市民への情報公開がどうであったかなど疑問の声が上がっています。議会では、総括質疑や委員会審査などで活発な議論となること必至です。

このほか、議案の中には、(仮称)上越市体操アリーナ整備事業

用地として、国際石油開発帝石株式会社所有の土地、1万3156㎡を1億5700万円で買入れ、森林組合へ無償譲渡する議案などがあります。

山田桂一郎さんが講演

上越市議会は21日、文化会館中ホールで、観光カリスマである山

田桂一郎さんの講演を聞きました。今回の議員勉強会は、市民の皆さんに公開してのものです。



【オニタビラコ】キク科の越年草。漢字で「鬼田平子」と書きます。これも柿崎区桜町の田んぼの畦で見つけた花。何度も草刈りされて背丈はそんなに高くはありません。秋の日差しを浴びてうれしそうでした。

私が山田さんの講演を聞くのは、今回で2度目です。ホームページなどに載っている数字を活用して、生産年齢人口割合が大きく減少していることや地消地産がうまくいっていないこと、地域として選ばれる明確な理由、目的となる商品やサービスが最も重要であること、な

山田さんの講演は、いろんなところの現場を見ていることもあって具体的な数字にわかりやすかったです。市民が市内での消費を1%増やすだけで約24億円の消費増になるなど、数字を駆使しての話には今回も圧倒されました。



12月議会日程 (開始時間はいずれも10時)

日	会議	場所	備考
1日(金)	本会議	議場	議案提案 総括質疑
4日(月)	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
5日(火)	建設企業委員会	第1委員会室	付託案件審査
6日(水)	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
7日(木)	総務委員会	第1委員会室	付託案件審査
8日(金)	一般質問	議場	一般質問
11日(月)	一般質問	議場	一般質問
12日(火)	一般質問	議場	一般質問
13日(水)	一般質問	議場	一般質問
15日(金)	本会議	議場	議案採決

はしづめ法一の
活動レポート

No.1834 2017.11.26

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
←こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第四八二回

涙が止まらない

今年の東京吉川会総会は、二五回目という区切りの総会でした。上野の東天紅で行われた設立総会当時と比べると、高齢化が進み、参加者はがくと減ってきています。が、故郷を思う心はいまも熱いままで。

私は総会の前日まで市議会の研修視察で九州方面に出かけていて、疲れがピークに達していました。総会では、まともに目が開けていられなくなるのではと心配しました。しかし、まったくの杞憂でした。

会場に入っただけに、顔なじみの人たちが次々と声をかけてくださり、それだけで眠気が吹き飛んだのです。

村屋出身のフミエイさんは、わざわざ私のテーブルまで来て下さって、「今回が最後の参加になるかもと思って……」と挨拶してくださいました。高齢で、体力に自信をなくされたのでしょうか。長年、ずっと参加して下さった方でした。

私がいま住んでいる代石(たいし)出身のヒサコさんからは、「姉が一人暮らしになってしまつて……。よろしくお願ひします」と言われました。やさしい、思いやりのある妹さんだと改めて思いました。

懇親会ではお酒も入ります。美味しい食べ物も出ます。どこのテーブルも同郷の人の動静や最近の出来事などが話題になり、とてもにぎやかになります。

一つのテーブルに、どこかで見たことがある顔立ちの女性がいました。誰だつたらうと気にしながら近づくと、私の肩をつつく人がいました。道之下出身のヒデコさんです。亡くなったお父さんのことが話題になったとき、ハツとしました。「どこかで見たことがある顔」の人の主が誰だかわかったのです。「国際人」とか「ママシのトラさん」などと呼ばれたヒデコさんのお父さんでした。そのお父さんとそっくりの

顔の二人のお姉さん、ミドリさんとキミエさんも会に参加されていたのです。「似てなるねえ」「だって、親子だもん」などといいつつ、話が盛り上がりました。

いったん、自分のテーブルに戻って寿司などを口に入れてみると、正面舞台の脇でニュース映画のような、動きのある画像がスクリーンに映し出されていました。

最初は何とはなしに見ていたのですが、東田中の学校らしい建物に続いて、原之町の小浜屋のおばあちゃんや「ちんころ」づくりが映された段階で、「これは吉川のだいぶ前の風景だ」と思いました。

そして、私の目から涙があふれ出したのは、尾神の人たちや風景などが出てからです。キャンプ場の近くで飼っていた梅花鹿、豆腐づくり、ハングラライダーなどが次々と映し出されました。

ハングラライダーの練習場はわが家の牧草地だったところでした。そこが出てきましたし、尾神集落の懐かしいお父さん、お母さんたちも出てきました。「オカダ」のお母さん、「イケンシリノシタ」のお父さんとお母さん、それに「ナカヤ」のお父さんとお母さんも……。すでに亡くなった人たちもみんな笑顔で写っていました。もう涙は止まりません。思わぬ上映で、私の心は揺さぶられっぱなしでした。

会では、ひと月に一度は吉川区米山に戻るといふレイコさんとも再会しました。私に母の様子を訊いてこられたので「元気ですよ」と答えると、「良かったですね。お母さんが頑張って生きておられるのはあなたのことが心配だからですよ」と言われ、ぐつとききました。

同郷者の交流は、参加者に生きていく希望と元気を与えてくれます。来年は東京見物ツアーも計画されるとか。楽しみです。

こと知ってから「戦わない戦車」を考えるようになったとか。

稲田望花さんの「ぐるぐる」描く絵、目を近づけて

みて、びっくりしました。一枚の紙にもものすごい力を入れて書いてあって、紙はでこぼこ道のようになっていたのです。でも破れてはいない。そこらへんは加減したのでしょうか。彼女の作品はすべて「マル」です。

友人の坂井亮円さんの作品、さり織り以外のものを初めて観ました。絵の力があつたからこそ芸術的な織物ができたのかと、新しい発見をしました。

中世の地図の現代版のようでもありました。

第3回「アール・ブリュット展in上越」

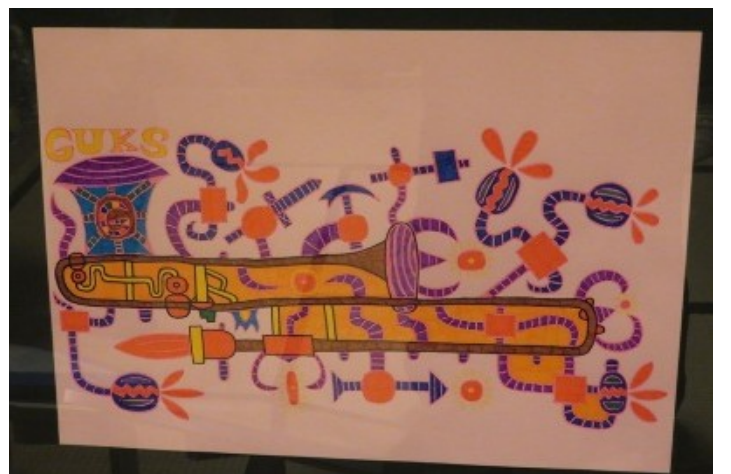
今年で3回目の「アール・ブリュット展in上越」を19日、観てきました。今回も素敵な作品がいっぱいでした。永野太一さんの「絵

地図」、観光会社の人にも注目しているというのがうなずけます。とにかく分かりやすい、イメージできる。

堀井銀次さんの「楽器の世界」(右下の絵)、惚れ惚れしました。楽しくて、心がうきうきしてきます。絵を描いた本人が楽器を使って演奏しているのが夢に出てくるかも。

石栗仁えさんの「迷路絵」も楽しいですね。どの絵にも線一杯引いて迷路をつくり、スタートとゴールを用意しておく。なかなかやりますねえ。こういう遊び心、私は大好きです。

作者の名前が書いてなかったのですが、「戦わない戦車への進化」、この人の平和感覚はすばらしい。何でも、子どもの頃、ガンダムが好きだったのだけど、そこに出てくるガンタンクが戦車で、人を殺す道具である



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	11月14日(水)	11月21日(水)
上越南消防署	0.047	0.040
上越北消防署	0.053	0.043
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.040	0.043
高士分遣所	0.040	0.047
名立分遣所	0.057	0.053